

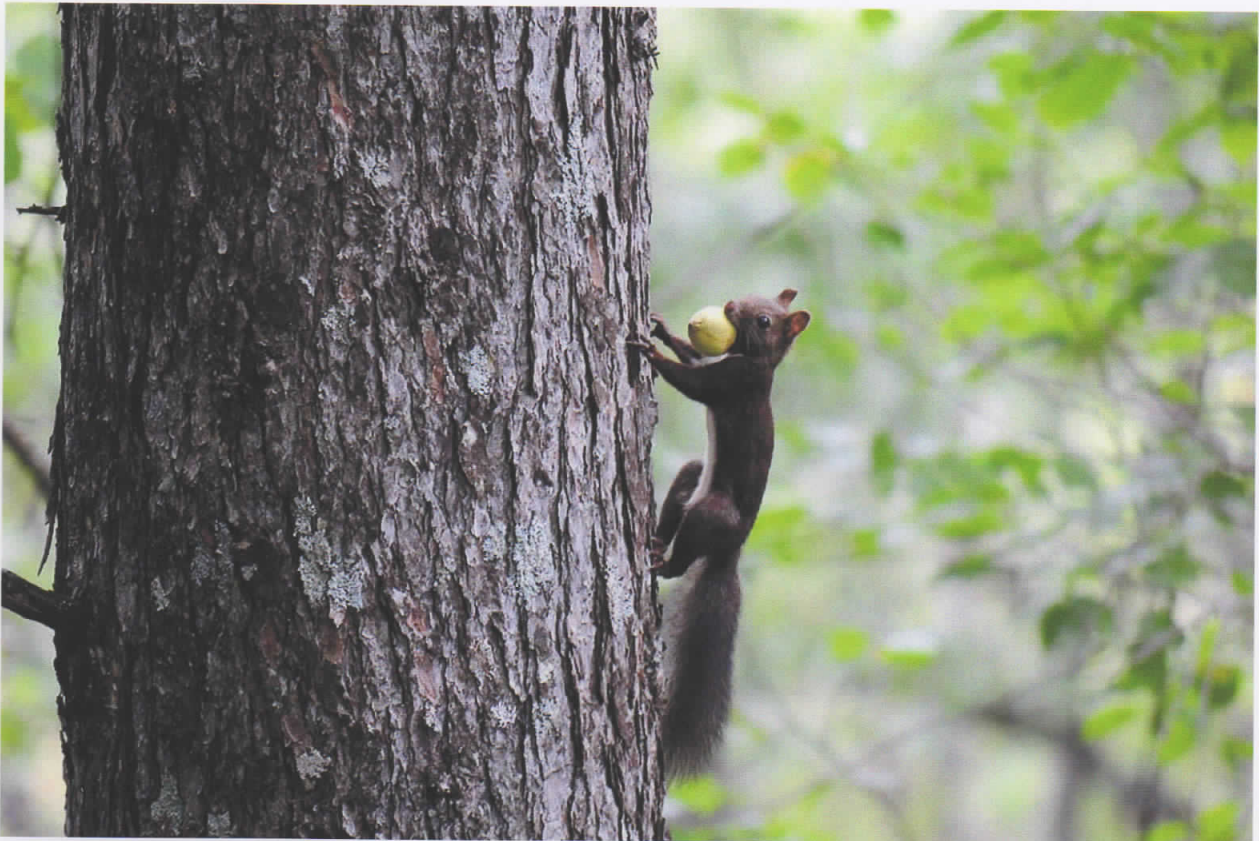
月刊 やちまなこ

2018. 9.15 発行

No.250

9月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

ヤチダモの葉が黄色くなり始め、湿原に吹く風に初秋を感じる頃となった。朝もやの塘路湖ではワカサギ漁が始まり、陽射しの中で銀鱗がキラキラと輝いていた。朝露に濡れた林の中では、木々の葉から流れ落ちる雫を受けたエゾトリカブトの花が鮮やかな色彩を放っていた。しばらく歩いているとミヤマカケスが盛んに鳴く声に追われるように幹の裏からエゾリスが姿を現した。木の上へと向かう様子で、口にはしっかりとオニグルミをくわえていて、さらに音量を上げたミヤマカケスに目を向けた瞬間、エゾリスはオニグルミとともに何処かへと姿を消してしまった。



塘路フィールドノート【8/15～9/14】

【野鳥】

そろそろ渡り鳥の先陣を切ってヒシクイがやってくる頃です。一方、夏鳥たちはヒシクイの到着と入れ替わるように南へと旅立っていきます。シジウカラやハシブトガラなどの留鳥たちは冬にかけて大きな群れを作ります。



ヒヨドリ (塘路湖畔)

子育てが終わり、山から下りてきたようです。数日前から声が聞こえ始めていました



ヤマゲラ (シラルトロ湖畔)

アカゲラのドラミングや鳴き声に混じってひっそり登場。周辺ではやや稀な野鳥です



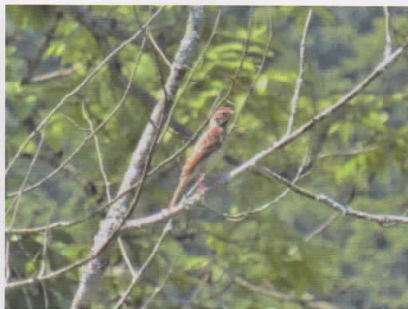
オシドリ (シラルトロ湖)

姿を確認した次の瞬間水面を飛び立ちました。エクリプス?、メス?、幼鳥????



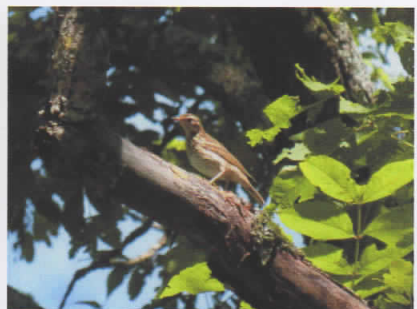
コサメビタキ (シラルトロ湖畔)

今年はよく見かけるような気がします。木から木へせわしく動き回っていました



オオジュリン (コッタロ湿原)

サルルン沼近くで遭遇した幼鳥。周辺では数羽の幼鳥が群れで行動していました



ビンズイ (塘路湖畔)

前方の草むらから突然飛び上がり、目の前の木に止まりました。幼鳥と思われます

【植物】

9月に入り、例年になくのんびりムードだった秋の植物たちもようやく咲きそろってきました。花の季節は終盤に差し掛かりましたが、実りの季節はこれからが最盛期。樹々の葉はそろそろ赤や黄色に色付き始める頃です。



エゾトリカブト (塘路湖畔)

昨年よりやや遅れて開花。待ちかねたようにハチたちがしきりに花を訪れていました



トウヌマゼリ (コッタロ湿原)

コッタロ湿原の一部で少数見られます。周辺では類似種のドクゼリも見られました



サラシナショウマ (コッタロ湿原)

塘路湖畔に先駆けて開花。澄みきった青空をバックにして咲く姿に初秋を感じます



ヒトツバハンゴンソウ (茅沼蝶の森)

葉が裂けないタイプのハンゴンソウの変種。周辺では他にも何固体が見られました



エゾニワトコ (コッタロ湿原)

真っ赤に熟した果実。今年の実のつきがいよいよ、道路沿いでよく目立ちます



カラフトイバラ (コッタロ湿原)

道道沿いに多く見られます。完熟した瑞々しい果実をたくさん実らせていました

【昆虫】

秋と言えばトンボの季節。中型のエゾトンボ類や大型のヤンマ類が飛び交い、縄張りをパトロールする光景はこの季節の風物詩です。そして、赤トンボのオスは成熟の時期を迎え、徐々に体の色が真っ赤に変わってきました。



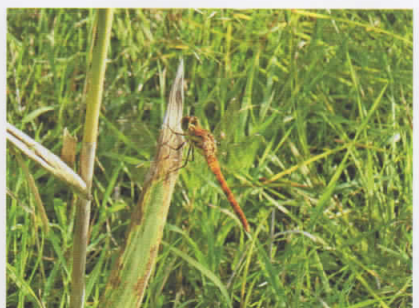
オオルリボシヤンマ (塘路湖畔)

センターの周辺を飛び回っていた♂。このあたりを縄張りしているようです



エゾトンボ (コッタロ湿原)

釧路川の水面上をパトロール中。ホバリングを始めた瞬間を捕らえることができました



アキアカネ (コッタロ湿原)

8月の下旬に確認した♂。成熟少し前で体が真っ赤になるまであと一歩というところ

■バードカービング講座が始まりました



自然ふれあい行事「バードカービング初心者講座1回目」を8日に開催しました。今年は「アオジ」をモデルに作り、釧路湿原ボランティアレンジャー会員の沢田正雄さんを講師に自己紹介と今回の講座の流れについて説明してもらいました。材料の角材に図面を転写したあと、糸鋸で輪郭を各自カットしたものに切出しナイフを使って徐々に削りながら鳥の形になるように作業を進め、その際、材料のバランスに注意して削るので、必ずセンターラインを引くことを忘れずに削る作業を進めてください。とナイフの使い方も含め、講師からアドバイスがありました。

■秋深まりつつある塘路湖

先日の夕方、センターの閉館作業を終えて外に出ると、澄み渡った西の空に雌阿寒岳の姿がくっきりと見えていました。

今年の夏はすっきりと晴れた日が少なく、雌阿寒岳はなかなか姿を見せてくれませんでした。8月の下旬ごろになって、ようやく晴れる日が増え、秋らしい澄んだ空気に包まれるようになってきました。

9月の中旬を迎えた現在は、日を追うごとに日没が早くなり、朝夕は肌寒さを感じることも多くなってきています。

徐々に秋が深まりつつあることを実感する今日この頃です。



マサコヤノシマ遺跡付近から雌阿寒岳を望む

10月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎バードカービング初心者講座 2回目

[日 時] 10月14日(日) 11時～15時

[定 員・参加料] [第一回の参加者の方](#)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎ムックリ(口琴)を作ろう

[日 時] 10月20日(土) 13時～15時

[定 員・参加料] 15名 300円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎晩秋の湿原 野鳥観察会

[日 時] 10月27日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 ・無料

[開催場所] シラルトロ湖・蝶の森

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

☆ザリガニウォッチング2 ～二ホンザリガニ編～

[日 時] 10月7日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 ・無料

☆申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 8/15(4:28,18:26). 8/31(4:45,18:00). 9/14(5:00,17:35)

～編集後記～

■夏も終わり、釧路湿原も秋の装いとなりました。早朝の気温も氷点下近くまで下がる日もあり、日の入も徐々に早くなってきました。気温差も大きくなり、秋の湿原観光を楽しむ方は、上着を用意した方が良いでしょう。また6日未明に発生した胆振東部地震による電力不足で、センターも一部節電しています。来館者の方には御不便をおかけしますが、御理解のほどよろしくお願いいたします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム [torokoemc](#)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料